



受付第06A0232号  
受付日：平成18年4月18日

## 品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成18年 9月 5日

財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 勝野 幸  
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号

試験名称	筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験				
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県土浦市大畑702-1				
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：1.5倍筋かい&lt;リペロ&gt; 用途：筋かい（30mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物 取付位置：梁及び土台から高さ170mmの位置の壁体内に設置 取付方法：筋かい金物の内側に筋かいを設置して緊結（図-1参照） 寸法：97.3×120×32.3mm，厚さ2.3mm（図-3参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302)</p> <p>2. 接合具 木ねじ：TB-30，筋かい側5本使用 長さ：32.4mm，ねじ部の長さ：26.75mm，ねじ部の外径：5.1mm 谷の径：3.5mm，ねじ山のピッチ：3.18mm，ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH 18A (JIS G 3507-2)，表面处理：ダクロタイズド処理 TB-66D，柱側5本使用 長さ：65.0mm，ねじ部の長さ：54mm，ねじ部の外径：6mm 谷の径：3.7mm，ねじ山のピッチ：3mm，ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH 18A (JIS G 3507-2)，表面处理：ダクロタイズド処理</p> <p>3. 使用軸組（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m） 梁：べいまつ，105×180mm，土台及び柱：すぎ，105×105mm 間柱：すぎ，30×105mm，筋かい：Hem-Fir (N)，30×90mm</p> <p>4. 試験体数 3体 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>				
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。				
試験結果	<p>1mあたりの基準せん断耐力：2.0kN，終局変形角<math>\gamma_u</math>の平均値：1/15rad 耐力算定基礎資料等：表-2～表-4 荷重-せん断変位包絡線の比較：図-4 荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-5～図-11 破壊状況：写真-1～写真-4</p>				
備考	当該試験結果は，平成12年告示第1460号の一の八に定める 30×90mm以上の木材に取付ける筋かいプレートに該当する。				
試験期間	平成18年 5月24日				
担当者	構造グループ	試験監督者	川 上 修	室 星 和	渡 辺 一
		試験責任者			
		試験実施者	高 橋 慶 太		
試験場所	中央試験所				